

# オープンOSの近未来 ここまで来た, これからこうなる

司会: 青山 幹雄 (南山大学)

## パネリスト

吉岡 弘隆  
(ミラクル・リナックス取締役戦略  
担当・CTO,  
OSDL理事)

鈴木 大輔  
(ヴァインカーブ  
代表,  
日本Linux協会  
副会長)

鵜飼 文敏  
(日本HP  
主幹研究員,  
日本Linux協会  
会長)



# パネルの背景

## 👉 オープンソースソフトウェアの浸透

👆 **Linux, Apache, アプライアンスサーバ製品**

## 👉 オープンソースソフトウェアの課題・不安

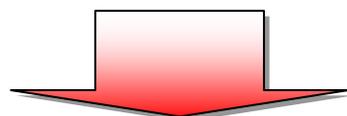
👆 **品質保証, 保守/機能追加, リリース管理**

👆 **オープンソースを用いた開発のノウハウの欠如**

👆 **ライセンス**

## 👉 オープンソースソフトウェア工学からのフィードバック

👆 **インクリメンタル開発, インターネット上での協調開発**



**技術とビジネスの観点から  
オープンOSの現状と今後を明らかにする**



# オープンソースソフトウェアの広がり

- ➡ 基盤を中心に多くのオープンソースソフトウェアの開発
- ➡ インターネットソフトウェアでの地位確立
- ➡ 高度なソフトウェアの開発へ: アプリサーバなど

オフィス  
アプリケーション:  
StarSuite(StarOffice)

エディタ: Emacs

Webブラウザ: Mozilla,  
Lynx, Amaya

GUI: GNOME, KDE  
X Windows

アプリケーションサーバ:  
JBoss(EJB/J2EE)

インターネットサーバ:  
Apache/ApacheSOAP  
(HTTPサーバ),  
Sendmail  
(電子メールサーバ),  
BIND(DNSサーバ)

開発支援ツール:  
CVS(構成管理)

プログラム/スクリプト  
言語と処理系:  
GCC(Cコンパイラ),  
Perl, Python, PHP,  
TCL/TK, Jikes(Java)

DBMS:  
PostgreSQL, MySQL

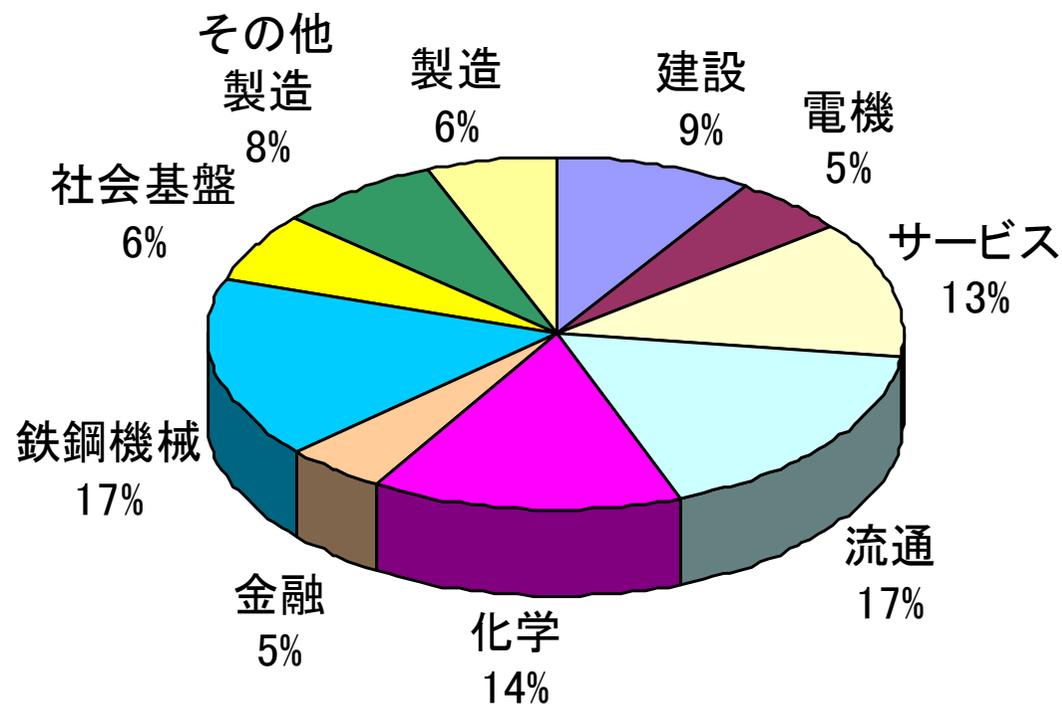
OS: Linux, FreeBSD



# オープンソースの利用実態

## 👉 JISA(情報サービス産業協会)オープンソース調査委員会の利用実態調査

- 👉 実施: 2002年2月
- 👉 対象: 情報システム部門を持つ従業員50人以上のユーザ企業517社[ベンダは入っていない]
- 👉 ほぼ全業種を網羅



アンケート回答企業の業種分布

報告書はJISAから入手可能

オープンソースビジネスの動向調査報告書, (社)情報サービス産業協会, 13-J010, Mar. 2002.

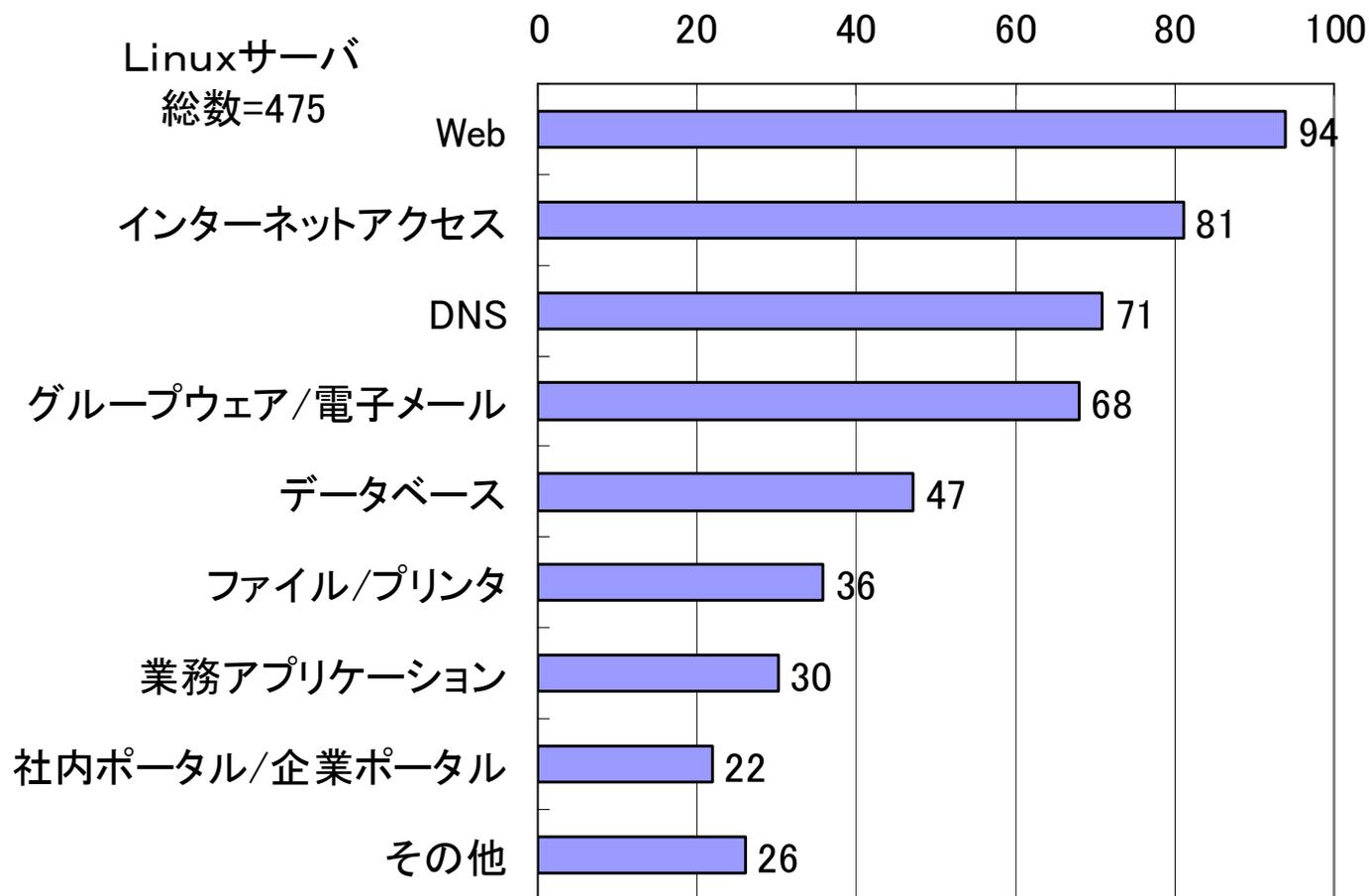


# オープンソースの利用実態

## 👉 Linuxの用途

👉 Web/DNSなどのインターネットサーバ

👉 DBサーバなどへも普及





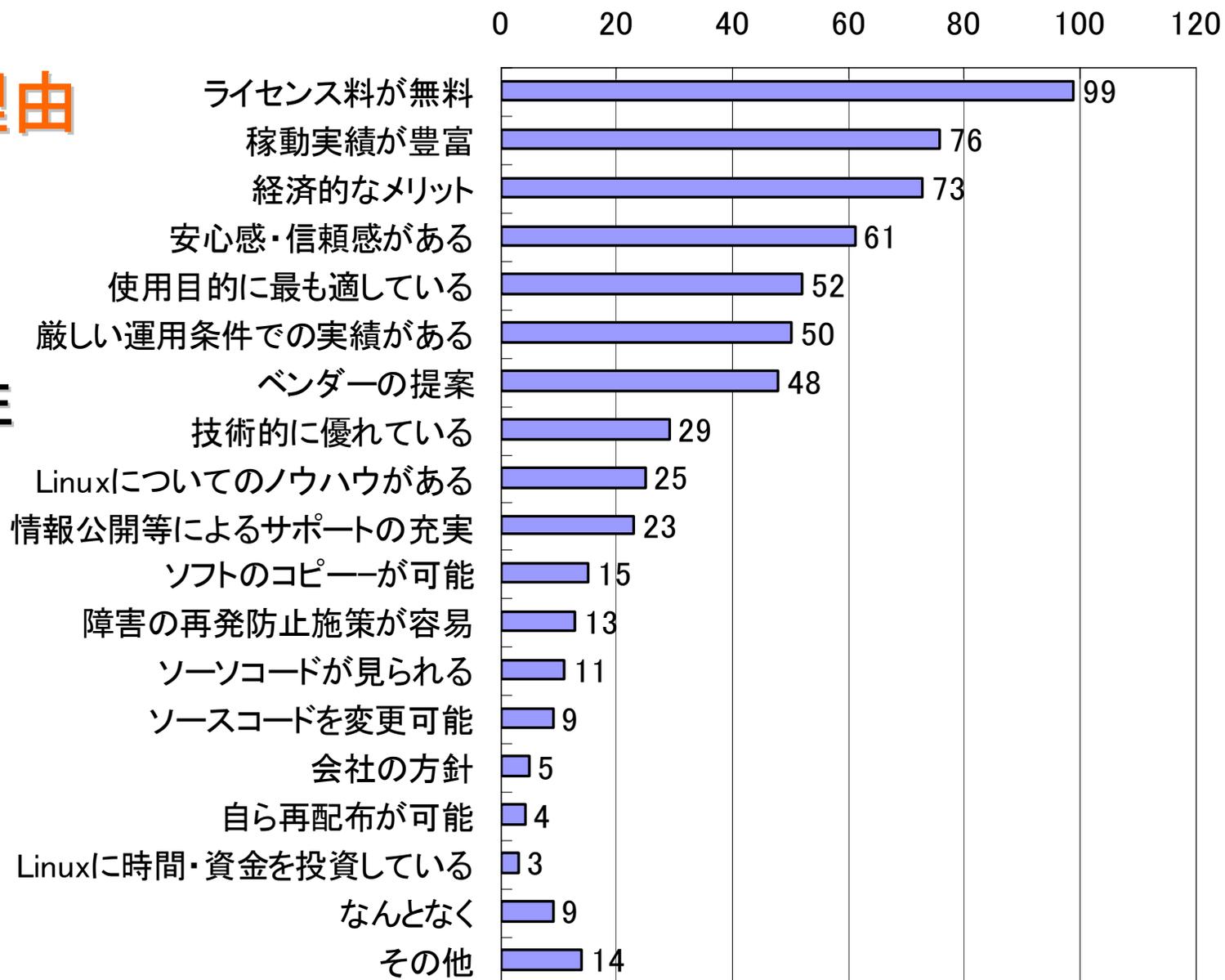
# オープンソースの利用実態

## 👉 Linux採用理由

👉 コスト

👉 自らの実績

👉 安心・信頼性





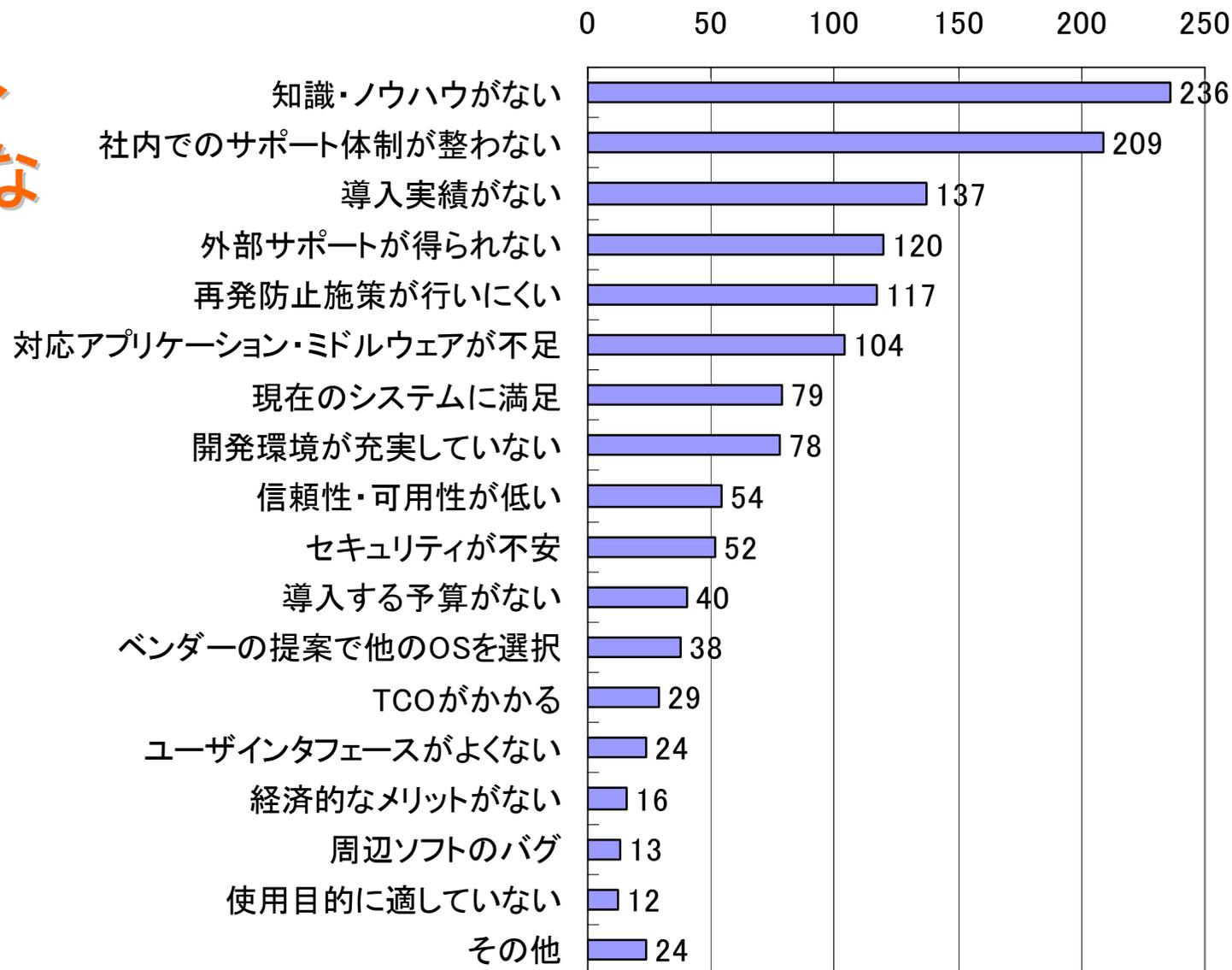
# オープンソースの利用実態

## 👉 基幹システムへ Linuxを採用しない理由

👉 ノウハウなし

👉 社内/外部サ  
ポートなし

👉 社内での実績





# オープンソースの利用実態

## オープンソースの評価

### 評価する

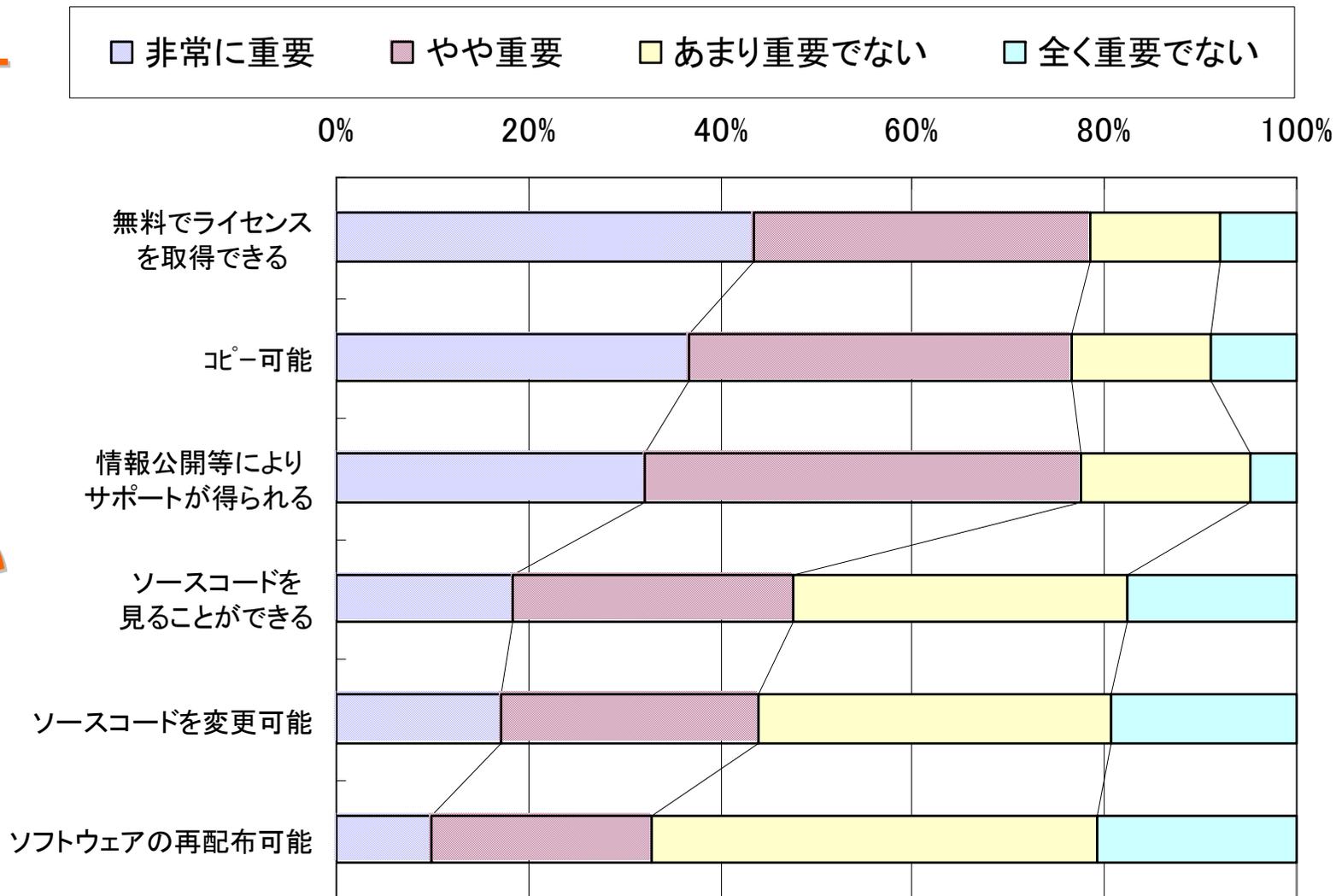
コスト

情報公開

### 評価しない

変更可能

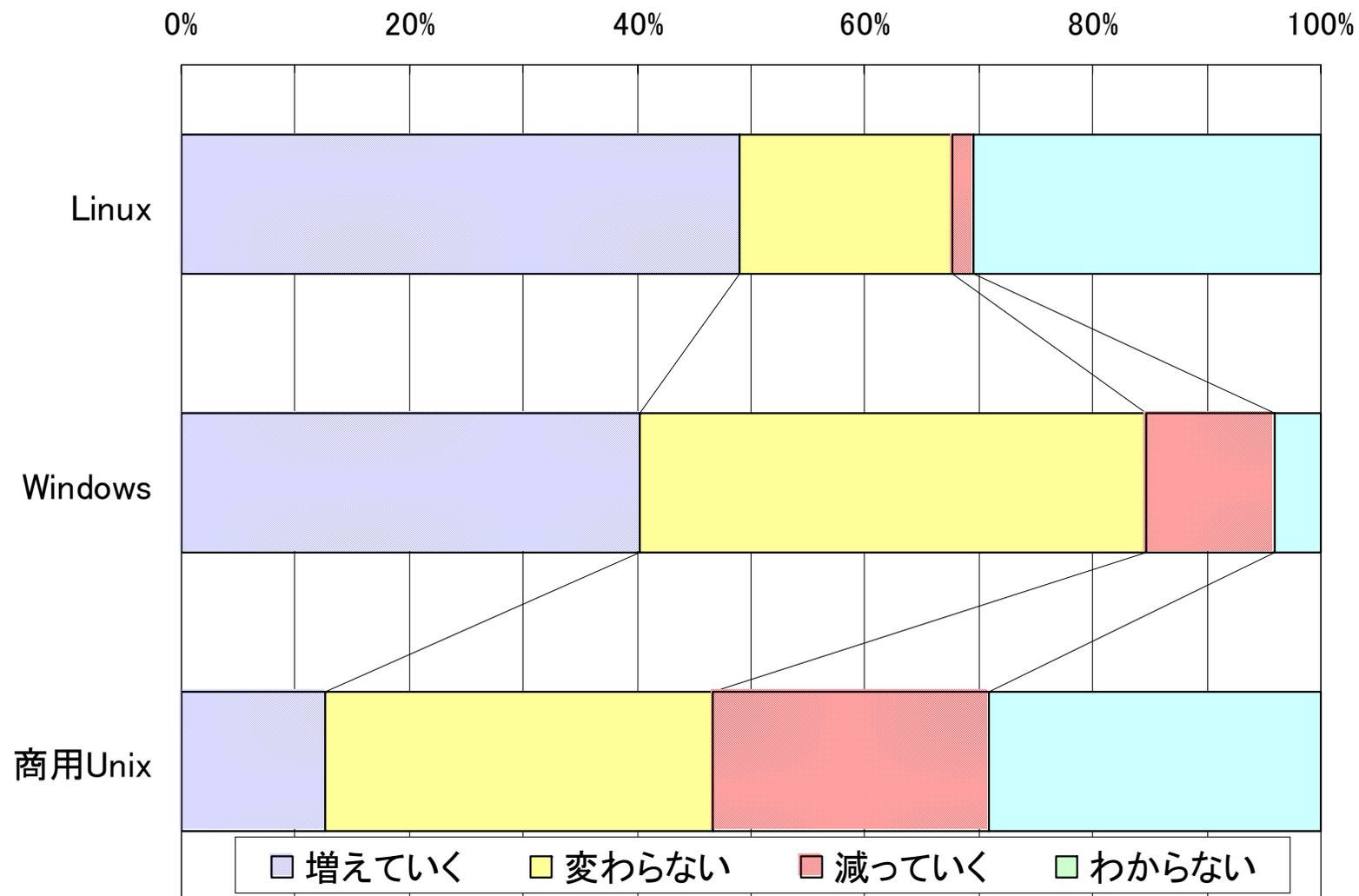
再配布





# オープンソースの利用実態

## 👉 3年後に自社で利用するOSの種類





# オープンソースを利用するビジネスモデル

## ソフトウェアビジネスとコミュニティ

### ディストリビューション[出版]

オープンソースソフトウェアの  
評価とパッケージ化  
品質保証

### インテグレーション

オープンソースソフトウェアを組み  
込んだSIやソリューションビジネス  
コンサルティング



### コミュニティ

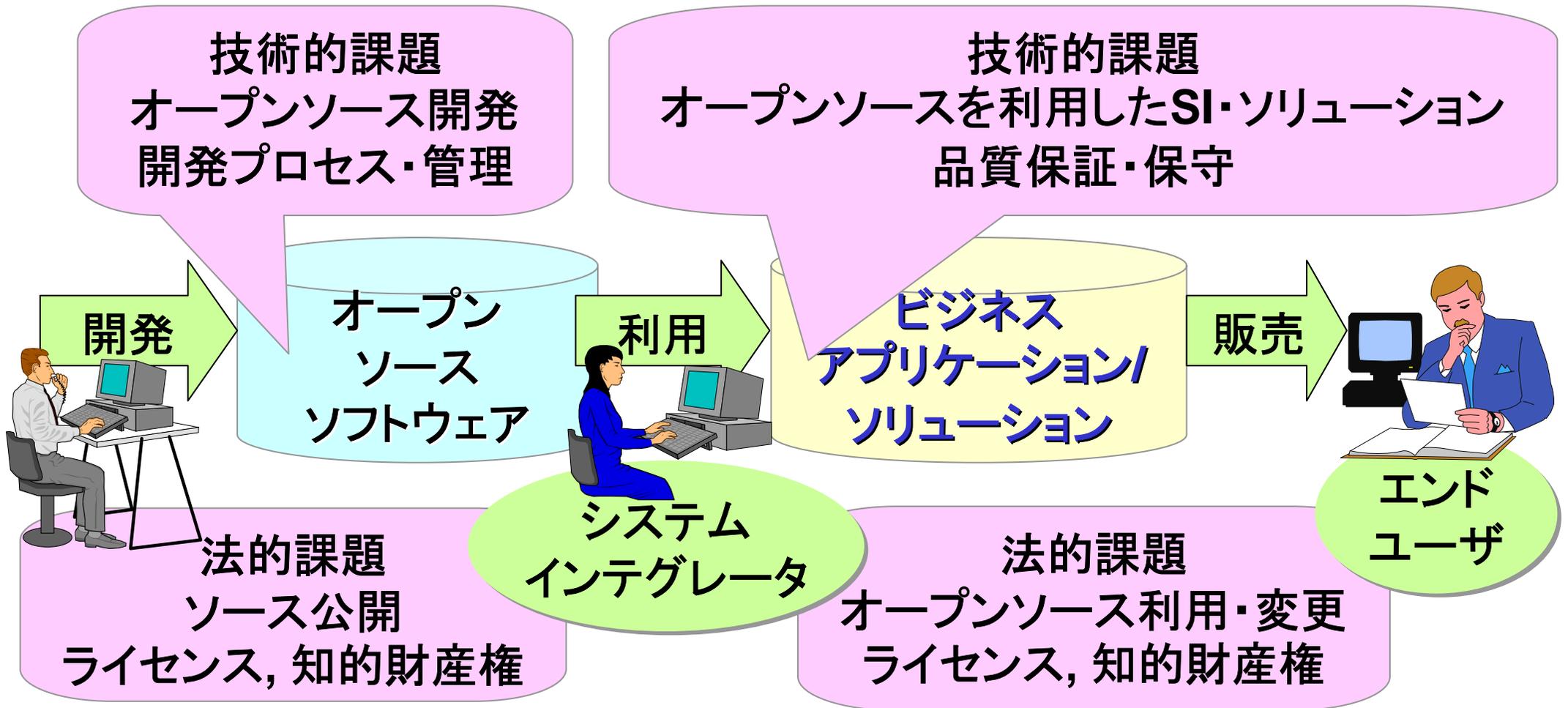
技術・ソフトウェアの支持者  
普及・改善の媒体  
標準化

### 保守・技術支援サービス

オープンソースソフトウェアの保守, 問  
題発生時の技術支援, コンサルティング



# オープンソースを利用するビジネスの課題





# パネル討論

## 👉 パネリストのオープンOSとの関わり

## 👉 技術面での現状と今後の方向

👉 オープンソースの技術的メリット

👉 オープンソースの特性

👉 性能, 信頼性

👉 適用領域の特性: ミッションクリティカル, 組込みなど

👉 技術面での今後の方向

## 👉 ビジネス面での現状と今後の方向

👉 適用事例: 代表例など

👉 オープンソースを利用する具体的効果

👉 エンドユーザの視点, あるいは, ベンダ/SIの視点

👉 今後のオープンソースビジネスの方向